



日本酒の購入を呼び掛ける岩塚さん(右)と渡辺酒造店の渡辺久憲社長(左) 飛騨市古川町で

コロナで出荷量減 「ひだほまれ」農家を助けて

古川・渡辺酒造店

3割引きで販売

飛騨市古川町の酒蔵「渡辺酒造店」は、来年出荷分の酒の減産を食い止め、酒米農家からの仕入れ量を維持しようと、在庫の日本酒に特別ラベルを貼り付け、二十五日から三割引きで販売している。

同社によると、酒米「ひだほまれ」の県内生産分のうち、65%を同社が使用。今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で日本酒の出荷量が激減。今年秋に仕入れる米は35%も減る可能性があり、農家の減収や耕作放棄、廃業につながりか

日本酒ラベルに「裏事情」

ねない状況という。

割引販売しているのは同社の商品「上撰 蓬菜」。酒造りの裏側で力を尽くす農家や蔵人の思いを込めて「蓬菜 裏事情」のラベルを付けた。

酒米農家の岩塚哲士さん(四七)は「ひだほまれの歴史を大切にしていきたい。コロナで大変な時期だが助けてもらいたい」と話した。

「蓬菜 裏事情」は七百二十リットルが五百八十六円、千八百リットルが千二百八十四円(いずれも税抜き)。同社ネット通販サイトなどで購入できる。

(瀬田貴嗣)